

(別紙4(2))

事業所名 グループホームジョイア矢作

## 目標達成計画

作成日:平成29年12月30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域交流スペースの有効活用がまだまだできていない。地域とのつながりを強くしていく。	地域の方々との交流が行える機会を増やす。また、ご家族様もより積極的に参加いただけるようにする。	地域のイベントに参加し、ジョイア矢作を知って頂く。地域の方、ご家族様の参加しやすいイベントを作る。	12ヶ月
2	26	昨年度より個別ケアを開始、一人一人のしたい事の把握に努めている。これらをもっと深めていき、より深くケアプランにつなげていきたい。	ご利用者様一人一人の状態、歴史などの把握をより強化し、共有することでケアプランへつなげていく。	地域の方々との接点を作る。ご家族様が参加しやすいイベントを作っていく。	12ヶ月
3	1	新しい体制となり、職員も定着してきている。新しい理念を作り、新たな目標を策定する。	新しい理念の共有、浸透を行う。	毎朝理念の唱和を行い、ユニットカンファレンスは理念が達成できているかどうかの確認を行っていく。	12ヶ月
4	33	看取りの向き合い方、知識について勉強が必要。ホーム内で看取り支援を行ったが、当時の職員がほとんどいなくなってしまっている。改めて、看取りの勉強、向き合い方について学ぶ必要がある。	看取り支援を行う事になった時も、適切な対応が出来る。より良い最期について、職員一人ひとりが考えられるようにする。	勉強会の実施、普段より看取りとは何なのか、より良い最期とは何かについて学ぶ機会を作る。	12ヶ月
5	35	水害の恐れのある地域である。水害対策に向け、ホームとしての役割をより認識していく必要がある。	水害が起こった時のホームのあり方、対応を知り、行う事が出来る。	地域の避難訓練などに参加をし、ホームの立ち位置を知る。地域交流スペースを活用し、避難訓練を行う。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。